

## 令和5年度 事業計画

### 令和5年度社会福祉法人天寿会事業運営方針（骨子）

社会福祉法人として天寿会が提供する利用者サービスが、その人らしい生活を送るための支援となっているか検証しながら業務に取り組み、法人理念の具現化を目指していきます。そのために以下の取組みを平成5年度の事業運営方針の骨子とします。

#### ① 人材確保と育成

人材不足は介護・福祉分野においても大きな課題となっています。人員確保のためには、離職防止と新規採用確保の両輪が必要となります。

離職・退職では職場内での人間関係が原因となることが多く、上司と部下や同僚同士の人間関係を大切にする職場環境、コミュニケーションが取れて働きやすい職場環境を目指します。また、新規採用においては様々な方策を駆使して採用確保に努めます。また、特定技能外国人の採用、奨学金支援による留学生の確保など外国人採用を積極的に行い、定着に向けた育成と生活支援を行います。

#### ② 経営の安定

新型コロナウイルス感染症のクラスター発生や退職・離職による人員不足が重なり、特に療護部とそよ風の里は大きな減収となりました。なかでもそよ風の里は著しい利用率低下となったため、令和5年度は早期にその立て直しが求められます。具体的には業務の見直しによる職員の疲弊解消、利用者サービスの立て直し、利用率向上を目指します。

#### ③ 虐待防止への取り組み強化と不適切ケアの是正

療護部で昨年8月に発生した虐待事案を教訓に、虐待防止へ取組みを強化します。まずは虐待の芽となる不適切ケアの是正のため、虐待防止委員会の定期開催・職員研修会を実施し、虐待防止委員会では外部委員を入れて実施します。

#### ⑤ 組織改革の検討

施設長・事業所管理者を中心に特命担当責任者を委嘱しましたが十分に機能しなかったことを踏まえ、法人運営のための組織改革を検討します。また施設・事業所を横断した連携に対しては、より応援・支援できるよう検討します。

#### ⑥ BPC業務持続化計画の作成

令和6年3月までに作成が義務付けられており、各施設・事業所において作成したものを集約して法人の計画として整備します。計画は、自然災害時発生時と新型コロナウイルス感染症等発生時の2部を作成します。

#### ⑦ 新型コロナウイルス感染症との共生～ウィズコロナのあり方検討

マスク着用の見直しや第5類への移行など感染予防対策の変化が見られるなか、コロナ禍前のサービス提供の状況へどのように戻していくか検討していきます。外出・外泊をはじめ各種行事などが再開できるよう制限緩和に取り組みます。また、取り組み経過について利用者様やご家族様にご理解いただけるよう随時情報発信していきます。

令和5年度 北海道リハビリテーションセンター【更生部】事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>前年度の入所部門は、断続的なコロナ感染対策や長期入院者の増加により目標稼働率95%を下回った。年度当初からの職員欠員と通所部門での2名の離職もあり、当初目的とした一元的な事業運営には至らなかった。通所部門は職員の欠員と入職後の休職に加えて、コロナ禍での利用控え等も影響し、利用目標値を大きく下回る結果となった。令和5年度は、感染対策を講じながらの、利用率の安定とサービス水準維持を目指し、離職防止に向けた職場環境改善と生活支援アシスタント導入による介護分業化を図る。令和5年度重点目標は以下のとおりである。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離職防止と生活支援アシスタント導入による業務改善、職場環境の整備</li> <li>2. コロナ等感染症対策の継続と感染対策委員会による感染対応の適切な実施</li> <li>3. 骨折等の重大事故対策の継続強化と安全・安心なサービスの提供</li> <li>4. 特定技能外国人材の受入に向けた役割体制の構築と研修体制の構築</li> <li>5. 通所部門の体制構築強化と利用率向上と日中生活介護の支援内容の精査検討</li> <li>6. 職場内での上司部下、同僚間でのハラスメント全般の禁止</li> </ol>												
利用者サービス	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="271 600 430 784">相談支援 (サービス管理含)</td> <td data-bbox="430 600 1452 784"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①入所希望や待機者の減少傾向下での在宅やGH等の重度利用者受入を含む相談体制構築</li> <li>②入所対象が競合する同一種別の療護部とはアメニティの相違も踏まえ、共に連携を図りながら新規入所受入の調整を行う</li> <li>③ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定</li> <li>④町内外の相談支援事業所との連携体制の維持</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 784 430 1008">介護 (生活支援)</td> <td data-bbox="430 784 1452 1008"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①更生部でサービス提供を行う日中の生活介護において、入所系利用者への支援と通い（通所系）利用者支援の一体的な運営は本来あるべき姿であり、入浴や食事、排せつ等のADL支援の協働実施と生活支援員とアシスタントとの介護分業化を推進し支援向上を図る。</li> <li>②共同で使用する入浴設備の効率的運営に向け隣接療護部との連携強化を図る。</li> <li>③Web面会を含めた面会の継続により家族関係保持に向け支援を継続する。</li> <li>④時代背景に応じ多様なニーズを踏まえた従来の作業訓練体制と日中活動の模索検討。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1008 430 1153">健康管理 (保健衛生)</td> <td data-bbox="430 1008 1452 1153"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①健康管理及び介護職を中心とした他職種との情報共有と連携の継続。</li> <li>②コロナ感染症等の予防と迅速な対応、関連研修の実施</li> <li>③経管栄養等の医療重度利用者への対応の継続により重度加算取得を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制において、隣接の療護部看護職員と連携し業務を遂行する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1153 430 1265">機能訓練</td> <td data-bbox="430 1153 1452 1265"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定。</li> <li>②利用者の日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案。</li> <li>③同一種別の療護部との合同的な訓練体制の構築模索</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1265 430 1377">給食 (栄養管理)</td> <td data-bbox="430 1265 1452 1377"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①必要摂取量確保に向け自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>②関係職種と連携しながら食事レク等を充実させる。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容の工夫を図り、適温提供を推進する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="271 1377 430 1568">余暇支援 (行事等)</td> <td data-bbox="430 1377 1452 1568"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①5類への移行を踏まえ、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク、クラブ活動を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事の企画 【主要行事】秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り 【クラブ活動】生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援 (サービス管理含)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入所希望や待機者の減少傾向下での在宅やGH等の重度利用者受入を含む相談体制構築</li> <li>②入所対象が競合する同一種別の療護部とはアメニティの相違も踏まえ、共に連携を図りながら新規入所受入の調整を行う</li> <li>③ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定</li> <li>④町内外の相談支援事業所との連携体制の維持</li> </ol>	介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①更生部でサービス提供を行う日中の生活介護において、入所系利用者への支援と通い（通所系）利用者支援の一体的な運営は本来あるべき姿であり、入浴や食事、排せつ等のADL支援の協働実施と生活支援員とアシスタントとの介護分業化を推進し支援向上を図る。</li> <li>②共同で使用する入浴設備の効率的運営に向け隣接療護部との連携強化を図る。</li> <li>③Web面会を含めた面会の継続により家族関係保持に向け支援を継続する。</li> <li>④時代背景に応じ多様なニーズを踏まえた従来の作業訓練体制と日中活動の模索検討。</li> </ol>	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①健康管理及び介護職を中心とした他職種との情報共有と連携の継続。</li> <li>②コロナ感染症等の予防と迅速な対応、関連研修の実施</li> <li>③経管栄養等の医療重度利用者への対応の継続により重度加算取得を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制において、隣接の療護部看護職員と連携し業務を遂行する。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定。</li> <li>②利用者の日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案。</li> <li>③同一種別の療護部との合同的な訓練体制の構築模索</li> </ol>	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①必要摂取量確保に向け自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>②関係職種と連携しながら食事レク等を充実させる。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容の工夫を図り、適温提供を推進する。</li> </ol>	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①5類への移行を踏まえ、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク、クラブ活動を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事の企画 【主要行事】秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り 【クラブ活動】生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol>
相談支援 (サービス管理含)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入所希望や待機者の減少傾向下での在宅やGH等の重度利用者受入を含む相談体制構築</li> <li>②入所対象が競合する同一種別の療護部とはアメニティの相違も踏まえ、共に連携を図りながら新規入所受入の調整を行う</li> <li>③ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定</li> <li>④町内外の相談支援事業所との連携体制の維持</li> </ol>												
介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①更生部でサービス提供を行う日中の生活介護において、入所系利用者への支援と通い（通所系）利用者支援の一体的な運営は本来あるべき姿であり、入浴や食事、排せつ等のADL支援の協働実施と生活支援員とアシスタントとの介護分業化を推進し支援向上を図る。</li> <li>②共同で使用する入浴設備の効率的運営に向け隣接療護部との連携強化を図る。</li> <li>③Web面会を含めた面会の継続により家族関係保持に向け支援を継続する。</li> <li>④時代背景に応じ多様なニーズを踏まえた従来の作業訓練体制と日中活動の模索検討。</li> </ol>												
健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①健康管理及び介護職を中心とした他職種との情報共有と連携の継続。</li> <li>②コロナ感染症等の予防と迅速な対応、関連研修の実施</li> <li>③経管栄養等の医療重度利用者への対応の継続により重度加算取得を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制において、隣接の療護部看護職員と連携し業務を遂行する。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定。</li> <li>②利用者の日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案。</li> <li>③同一種別の療護部との合同的な訓練体制の構築模索</li> </ol>												
給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①必要摂取量確保に向け自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>②関係職種と連携しながら食事レク等を充実させる。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容の工夫を図り、適温提供を推進する。</li> </ol>												
余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①5類への移行を踏まえ、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク、クラブ活動を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事の企画 【主要行事】秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り 【クラブ活動】生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol>												
人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>①法人研修や合同研修、外部研修等への参加を促しに資質向上を図る</li> <li>②上長、管理者面談の実施による面談機会を確保し、風通しの良い事業所風土を醸成する。</li> <li>③個人面談等を通して、離職防止に努める。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>①法人研修委員会及び療護との合同研修委員会による取組みにより、研修内容の充実を図る。</li> <li>②虐待防止・身体拘束廃止に向けた、法定開催研修の実施。</li> <li>③社会福祉研修所等の外部研修へのオンライン参加や他施設間との交流方法を検討し、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>①防災対策の強化と事故再発防止の徹底</li> <li>②安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。</li> <li>③新型コロナウイルス感染症予防として衛生用品の備蓄、予防知識と技術の周知を図る。</li> </ol>												
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>①コロナ禍での事業継続、防災対策を踏まえたBCP(事業継続計画)を策定する。</li> <li>②隣接する同一事業種別の療護部との事業協働に向けた連携強化を図る。</li> </ol>												

令和5年度 北海道リハビリテーションセンター療護部（空床型短期入所）事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>前年度は年度当初より異動者辞退に伴う欠員と支援員 3 名の離職もあり、人員を遣り繰りしての厳しい勤務体制となった。6 月には職員による利用者への暴力行為が実施機関により身体的虐待に該当との口頭指導を受け、振興局による緊急の实地指導を受け、管理者を含めた職員や利用者への聴取を受けた。7 月にはコロナクラスターが発生し、利用者 20 名、職員 14 名が感染し、他事業所の協力を受けサービス提供を実施、重度利用者 1 名が感染後死亡に至る残念な結果となった。年間利用率は 90%前半で推移し目標を下回った。上記感染対策や職員欠員の経過もあり空床型短期入所は受入れなく経過した。令和 5 年度は、前年度の反省を踏まえ、改めて虐待再発防止の徹底、感染症対策の継続と利用者への言葉遣いを含めた不適切ケアの再発防止を図る。また同僚間も含めたハラスメントの防止と職員の腰痛悪化防止に向けた、ケア体制の再構築を重点的目標として事業運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 虐待再発防止と身体拘束の廃止</li> <li>2. 不適切ケアの改善と職員の腰痛悪化を踏まえたケア体制の再構築</li> <li>3. コロナ等の感染症対策の継続実施と適切なゾーニングの実施</li> <li>4. 離職防止を図り、職場環境の体制を整備する（業務改善を含）</li> <li>5. 骨折事故等の重大介護事故の対策強化と誤薬防止を踏まえた安全・安心なサービスの提供</li> <li>6. 上司部下や同僚間でのハラスメント行為全般の禁止（パワハラ、モラハラ、セクハラ等）</li> <li>7. 事前協議中の大規模修繕事業に関して、粛々と補助金申請等を行う。</li> </ol>												
利用者	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="199 712 359 862">相談支援</td> <td data-bbox="359 712 1453 862"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①入所対象が競合する隣接する同一種別の更生部とは、入所対象が重複化しているが、アメニティの相違も踏まえ、ニーズ把握を行いながら共に連携を図り新規入所の調整を行う。</li> <li>②ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定する。</li> <li>③町内外の相談支援事業所との連携を継続する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 862 359 1012">介護（生活支援）</td> <td data-bbox="359 862 1453 1012"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①入浴設備を共有する更生部との業務協力体制の模索を継続し業務改善を図る。</li> <li>②Web 面会等の継続による家族関係保持を図る。</li> <li>③職員の腰痛悪化事案も多く、移乗支援時のリフターの活用等、業務内容を再検討しケアの適正化を図る。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1012 359 1162">健康管理（保健衛生）</td> <td data-bbox="359 1012 1453 1162"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①日常的な健康管理は介護職を中心とした他職種と情報共有を図り実施する。</li> <li>②コロナ等の感染症対策の実施と迅速な対応を行い、感染対策委員会と共に研修を実施する。</li> <li>③経管栄養等の医療重度者への対応を継続し、重度者加算の算定を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制時に更生部看護職と連携を継続して業務を遂行する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1162 359 1267">機能訓練</td> <td data-bbox="359 1162 1453 1267"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定し、機能訓練を実施する。</li> <li>②日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案する。</li> <li>③隣接する更生部との訓練実施においては、訓練室の共有状況も踏まえ提供体制を検討する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1267 359 1373">給食（栄養管理）</td> <td data-bbox="359 1267 1453 1373"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者個別の嗜好やニーズを踏まえて、栄養ケア計画を作成する。</li> <li>②必要摂取量確保のため自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容を工夫し、適温提供の継続実施を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="199 1373 359 1541">余暇支援（行事等）</td> <td data-bbox="359 1373 1453 1541"> <ol style="list-style-type: none"> <li>①5類移行に伴い、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク等を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事を企画する。（主要行事）秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り（クラブ活動）生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入所対象が競合する隣接する同一種別の更生部とは、入所対象が重複化しているが、アメニティの相違も踏まえ、ニーズ把握を行いながら共に連携を図り新規入所の調整を行う。</li> <li>②ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定する。</li> <li>③町内外の相談支援事業所との連携を継続する。</li> </ol>	介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入浴設備を共有する更生部との業務協力体制の模索を継続し業務改善を図る。</li> <li>②Web 面会等の継続による家族関係保持を図る。</li> <li>③職員の腰痛悪化事案も多く、移乗支援時のリフターの活用等、業務内容を再検討しケアの適正化を図る。</li> </ol>	健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日常的な健康管理は介護職を中心とした他職種と情報共有を図り実施する。</li> <li>②コロナ等の感染症対策の実施と迅速な対応を行い、感染対策委員会と共に研修を実施する。</li> <li>③経管栄養等の医療重度者への対応を継続し、重度者加算の算定を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制時に更生部看護職と連携を継続して業務を遂行する。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定し、機能訓練を実施する。</li> <li>②日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案する。</li> <li>③隣接する更生部との訓練実施においては、訓練室の共有状況も踏まえ提供体制を検討する。</li> </ol>	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者個別の嗜好やニーズを踏まえて、栄養ケア計画を作成する。</li> <li>②必要摂取量確保のため自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容を工夫し、適温提供の継続実施を行う。</li> </ol>	余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①5類移行に伴い、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク等を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事を企画する。（主要行事）秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り（クラブ活動）生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入所対象が競合する隣接する同一種別の更生部とは、入所対象が重複化しているが、アメニティの相違も踏まえ、ニーズ把握を行いながら共に連携を図り新規入所の調整を行う。</li> <li>②ケアガイドラインを踏まえた個別支援計画の策定する。</li> <li>③町内外の相談支援事業所との連携を継続する。</li> </ol>												
介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①入浴設備を共有する更生部との業務協力体制の模索を継続し業務改善を図る。</li> <li>②Web 面会等の継続による家族関係保持を図る。</li> <li>③職員の腰痛悪化事案も多く、移乗支援時のリフターの活用等、業務内容を再検討しケアの適正化を図る。</li> </ol>												
健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①日常的な健康管理は介護職を中心とした他職種と情報共有を図り実施する。</li> <li>②コロナ等の感染症対策の実施と迅速な対応を行い、感染対策委員会と共に研修を実施する。</li> <li>③経管栄養等の医療重度者への対応を継続し、重度者加算の算定を継続する。</li> <li>④土日等の日直体制時に更生部看護職と連携を継続して業務を遂行する。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>①身体機能及び生活能力維持に向けた個別支援計画の策定し、機能訓練を実施する。</li> <li>②日中活動拡大に向けた自主訓練プログラムを含めた提案する。</li> <li>③隣接する更生部との訓練実施においては、訓練室の共有状況も踏まえ提供体制を検討する。</li> </ol>												
給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①利用者個別の嗜好やニーズを踏まえて、栄養ケア計画を作成する。</li> <li>②必要摂取量確保のため自助食器の導入し、残菜調査等により献立内容を検討する。</li> <li>③咀嚼・嚥下状態にあった食事内容を工夫し、適温提供の継続実施を行う。</li> </ol>												
余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①5類移行に伴い、季節感を感じ利用者ニーズを踏まえた行事やレク等を実施する。</li> <li>②コロナ感染防止対策下での中止や延期の場合には、施設内での代替行事を企画する。（主要行事）秋の祭典・ショッピング・夏祭り・忘年会・野外レク・もちつき・虹鱒釣り（クラブ活動）生花クラブ・カラオケクラブ</li> </ol>												
人材育成（職員確保）	<ol style="list-style-type: none"> <li>①法人研修、合同研修、外部研修などの参加を促し資質向上を図る。</li> <li>②上長や管理者に気軽に悩みを打ち明け、風通しの良い職場環境体制を構築する。</li> <li>③職場内及び管理者との個人面談の定例実施により、離職防止に努める。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>①法人研修委員会及び更生部やしおさいとの障がい合同研修委員会による取組みにより、研修内容の充実を図る。</li> <li>②社会福祉研修所研修等の外部研修へのオンライン参加や他施設間との交流方法を考え、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>①防災、防犯対策を強化し、事故防止を図る。</li> <li>②安心・安全なサービス提供を目標とし、虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。</li> <li>③新型コロナウイルス感染症予防として衛生用品の備蓄、予防知識と技術の周知を図る。</li> <li>④事前協議中の大規模修繕事業において、実施設計及び適宜補助金申請を遅滞なく実施する。</li> </ol>												
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>①コロナ対策や防災対策を踏まえた BCP（事業継続計画）を立案する</li> <li>②虐待防止・拘束廃止委員会を定例開催し、法定研修を定例で実施する。</li> </ol>												

令和5年度 特養部 事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>令和4年は、コロナ感染対策の徹底を要し注意深く行っていたが、職員・利用者が新型コロナウイルス感染によりクラスター発生し長期化したことにより、通常の体制に戻るまで時間を要した。職員の離職はなかったが、介護職員不足により安定したサービス提供ができず、接遇においても課題が残る。外部受診・利用者対応等も多く相談業務が滞り定時内で終了しないことが増えた。</p> <p>令和5年度は、引き続き稼働率維持向上を目標に、コロナ感染対策の継続と緩和も視野に入れながら利用者・家族の意向を踏まえた、サービスの提供を図っていく。介護報酬、加算算定は慎重におこない、書類整備等の体制整備を図り、必要な研修や高齢者虐待・身体拘束廃止委員会を定期に開催し虐待・身体拘束廃止と職員の意識改革を図り適切な接遇を行う。事故防止に向けた対策の強化。離職防止と安定した職場環境の整備</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 安定した入所利用者の確保と離職防止に向けた職員体制の維持</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携の強化</li> <li>3. 介護保険施設としての法令順守</li> <li>4. 虐待・事故防止に向けた委員会・研修の開催</li> <li>5. ハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> <li>6. 老朽化の早期対応</li> <li>7. BCP 事業継続計画を策定する</li> </ol>	
利用者サービス等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.コロナ禍での面会及びWeb面会の継続実施に向けた安定した支援の継続</li> </ol>
	介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上・ケアの標準化</li> <li>4.併設の友活の里との、協力体制を検討実施する。</li> </ol>
	看護 (健康管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来からの日直勤務とオンコール体制の継続、併設友活の里との業務協力体制の強化。</li> </ol>
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol>
	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>
	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内外余暇行事の企画・実施</li> <li>2.ユニットレクの企画・実施</li> </ol>
	人材育成 (職員確保) 研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「業務会議」「介護会議」「相談課会議」「看護職会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、高齢者虐待・不適切ケア防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>
	施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 続発する転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>

令和5年度 特養部短期入所 事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>令和4年はコロナ感染対策の中での事業実施となり厳しい状況ではあったが、新型コロナウイルス感染予防を図りながら適切に受入れ対応をおこす。新型コロナウイルスクラスター発生により受け入れが制限せざるを得ない状況もあった。介護職員の欠員もあり、受入れケースによっては負担がかかったことはあるものの相談員が補う形は多かった。</p> <p>令和5年度においても、感染症対策の継続を要するが、町内の限られた短期入所事業所として在宅生活を継続する利用者及び家族のニーズに応えるため、可能な限りの受入れを行い、目標稼働率（80%）維持に向け事業所全職員協力のもと支援を継続していく。ここ数年増加している在宅での重度認知症利用者の利用ニーズを踏まえ、認知症ケアに関して学びを深め、接遇の向上を図りながら、事業運営を継続していく。今後も特養部内での入所支援と一体的な支援体制を継続し、職員・職種間での連携を図り、短期入所者の安心した生活を提供する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入所利用者の確保と特養入所本体部門との一体的な事業運営の継続</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携の強化</li> <li>3. 介護保険事業所（短期入所）としての法令順守</li> <li>4. 高齢者虐待・不適切ケア防止に向けたケアサービスの提供</li> <li>5. 本体特養と同様にハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> <li>6. BCP 事業継続計画を策定する</li> </ol>												
利用者サービス等	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="263 891 432 1122">相談支援</td> <td data-bbox="432 891 1406 1122"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.加算取得の際は慎重に協議を行い 介護報酬請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者への面会・Web面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1122 432 1263">介護 (生活支援)</td> <td data-bbox="432 1122 1406 1263"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1263 432 1429">看護 (健康管理)</td> <td data-bbox="432 1263 1406 1429"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1429 432 1547">機能訓練</td> <td data-bbox="432 1429 1406 1547"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1547 432 1688">給食 (栄養管理)</td> <td data-bbox="432 1547 1406 1688"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td data-bbox="263 1688 432 1794">余暇支援 (行事等)</td> <td data-bbox="432 1688 1406 1794"> <ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.加算取得の際は慎重に協議を行い 介護報酬請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者への面会・Web面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol>	介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol>	看護 (健康管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol>	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.短期入所利用者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたサービス計画の作成と関連諸記録の整備</li> <li>3.加算取得の際は慎重に協議を行い 介護報酬請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化と情報提供</li> <li>5.長期利用者への面会・Web面会の活用も含めた利用者・家族支援の継続</li> </ol>												
介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.在宅生活の継続に向けたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上</li> </ol>												
看護 (健康管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入所利用者と同様に、日常的な健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.体調急変時の対応と家族への受診対応等の助言</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、ケアプラン・訓練計画に基づいた訓練の提供。</li> <li>2.在宅生活維持に向けた歩行訓練等の個別・集団訓練の実施</li> </ol>												
給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>3.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>												
余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.特養利用者との合同の施設内余暇行事の検討</li> <li>2.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>												
人材育成 (職員確保) 研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「全体会議」「介護会議」「相談課会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、高齢者虐待防止委員会、褥瘡防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 続発する転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>												

令和5年度 友活の里 事業計画（案）（概要）

運営方針	<p>令和4年は、新型コロナウイルスが長期化し厳しい状況となり、職員に感染者が出たものの入居者へのコロナ感染は無く経過した。家族交流では入室での面会は実現できず、ウェブ面会・面会室での面会を継続しご家族との繋がりを持った。また、特別監査により介護報酬過去2年分個別機能訓練加算の返還となる。介護ソフトウイズマン活用し業務の効率化・情報共有を進め充実を深める。</p> <p>令和5年度は、引き続き稼働率維持（年間95%）を目標に、コロナ感染対策の継続と緩和を図りながら入居利用者・家族の意向を踏まえた、サービスの提供を図っていく。介護報酬、加算算定の際は慎重に協議取得に向け、書類整備等の体制整備を図り、必要な研修の開催、高齢者虐待・身体拘束委員会を定期に開催し虐待・身体拘束の廃止と職員の意識を図り適切な接遇を行う。離職防止と安定した職場環境の整備。骨折事故防止に向けた対策を強化し、近隣特養で既に取り組んでいる看取りケアについても、地域の要請も多く、ユニットケアの推進とあわせて、実践実現に向けた検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 入居利用者の確保と職人体制の維持、コロナ感染症対策の継続と緩和を探る</li> <li>2. アセスメントによる利用者状況の把握と職種間連携、チームケアの強化</li> <li>3. ユニット毎でのケアカンファレンスの実施とケアプランに基づいたサービス提供</li> <li>4. 虐待・身体拘束廃止に向けた委員会・研修の開催</li> <li>5. ハラスメント（パワハラ・セクハラ等）行為全般の禁止</li> <li>6. BCP 事業継続計画を策定する</li> </ol>	
利用者サービス等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.入居者や家族の意向・ニーズ把握とケアプランへの反映</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランの作成と関連諸記録の整備</li> <li>3 加算取得の際慎重に協議を行い 介護報酬請求業務における複数確認制により請求業務の適正化を図る。</li> <li>4.入所利用者の確保に向けた関係事業所との連携強化</li> <li>5.コロナ禍での面会及びWeb面会の継続実施に向けた支援の継続</li> </ol>
	介護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.介護サービス提供者としての接遇の向上</li> <li>2.アセスメントを踏まえたケアプランに基づくサービス提供</li> <li>3.利用者の安心した生活に向けた介護技術の向上・ケアの標準化</li> <li>4.併設となる併設特養部との、協力体制を検討実施する。</li> </ol>
	看護 (健康管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.日常的な利用者への健康管理の実施</li> <li>2.コロナ等の感染対策に向けた利用者・職員への医療的助言及び指導</li> <li>3.利用者の受診・入退院調整と一時的な投薬受診等の継続検討</li> <li>4.従来の日直勤務とオンコール体制の継続。併設特養部との業務協力体制の維持強化。</li> </ol>
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者の意向を踏まえた、訓練の提供。</li> <li>2.歩行訓練等の個別訓練に加えた、集団での体操等の多様な訓練の実施</li> </ol>
	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.利用者個々の嗜好を把握と食形態の検討</li> <li>2.食事を伴う施設内行事、レクへの参画</li> </ol>
	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.コロナ禍での外出行事が制約される中での施設内余暇行事の企画・実施</li> <li>2.ユニットレクの企画・実施</li> </ol>
	人材育成 (職員確保) 研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1.事業所内研修への参加（「全体会議」「介護会議」「相談課会議」）</li> <li>2.法人内研修への参加</li> <li>3.コロナ対策を含めた感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束廃止委員会、高齢者虐待防止委員会等の定期開催により感染症や不適切ケア、虐待防止について事業所全体での学び共通認識を図る。</li> </ol>
	施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 離設・転倒・骨折事故防止に向け、施設全体で対応策を検討する。</li> <li>2. 備品台帳を整備、経費節減による経営の安定化を図る。</li> </ol>

## 令和5年度 老人デイサービス事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>令和4年度は、日常化したコロナ感染症予防を行いながら事業運営を実施してきた。事業所では、幸いなことにクラスターの発生もなく経過することができたが、利用者には、感染に対する心配から利用控えもあった。利用率については、大きな変更もなく、微増傾向が続いている。</p> <p>令和5年度も、引き続きコロナ感染症対策を強化しながら、コロナ禍でも可能な利用者が求めるサービスを提供していく。昨年度に引き続き LIFE による科学的介護がより実効性のあるものなるよう研鑽していく。業務の省力化・効率化を進めると同時に、適切な報酬加算が請求できる体制を構築していく。送迎時の安全運転・事故や利用中の転倒事故等の防止に努める。不適切ケアや言葉遣いにも引き続き気をつけていく。今年度も、評価頂いている事業所の基本姿勢（断らない・共に考える）を維持しながら課題となっている認知症利用者を中心とした重度利用者への対応方法を学び支援していく。総合事業のプログラム検討・混合サービスの可能性についても引き続き検討を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り在宅生活を維持できる支援としてのデイサービス事業を目指す。</li> <li>2. 自立支援を目指したサービスの提供。</li> <li>3. 利用者の確保。（関係機関への定期訪問・空き状況の情報提供）</li> <li>4. カンファレンスの適切な実施。</li> <li>5. 感染対策の徹底・送迎中や利用中の事故防止。</li> </ol>												
利用者サービス等	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">相談支援</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>介護（生活支援）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>健康管理（保健衛生）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>機能訓練</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>給食（栄養管理）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol> </td> </tr> <tr> <td>余暇支援（行事等）</td> <td> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol> </td> </tr> </table>	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol>	介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol>	健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol>	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol>	給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol>	余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol>
相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心して在宅生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 利用者・家族に対して、提供するサービス内容をわかり易く説明し、デイサービス利用の意義を理解して頂けるよう努める。</li> <li>3. 利用者の確保に務める。（ケアマネ事業所定期訪問・空所情報提供）</li> </ol>												
介護（生活支援）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の自立支援の原則に立ち返り、在宅生活の継続支援を目指し、自分で出来ることを増やせるような支援を行っていく。</li> <li>2. ケアプランに基づくサービスの充実を図り、記録の整備を行う。</li> <li>3. 利用者情報の共有化を図り、ケアの質の向上を目指す。</li> <li>4. 業務の見直しによる効率化を目指す。</li> </ol>												
健康管理（保健衛生）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 日常的に利用者の健康をチェックし、早期発見に努め、治療が必要な場合は医療機関との連携を図る。</li> <li>2. 感染症の予防に努め、介護職等に対する支援を行う。</li> </ol>												
機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 可能な限り機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成し、実施していく。</li> <li>2. 総合事業対象者の運動器機能訓練を適切に実施する。</li> </ol>												
給食（栄養管理）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の嗜好を把握し、出来るだけ満足の得られる食事の提供に心掛ける。</li> <li>2. 食の大事さを利用者・職員に理解していただき、適切なマネジメントを行う。</li> </ol>												
余暇支援（行事等）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が楽しめる行事や余暇活動を充実する。</li> <li>2. 法人全体で取り組む年間行事にも参加する。</li> </ol>												
人材育成（職員確保）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経営の安定化を図るために、適正な人員管理を行う。</li> <li>2. 職場内研修は年6回開催する。資格取得の支援を継続する。</li> </ol>												
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 施設内研修計画を立案し、デイ課題への取り組みや資質の向上を目指す。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得を図る。</li> </ol>												
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 各種加算が適切に請求できるよう管理する。特に利用定員の管理に注意する。</li> <li>2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。</li> <li>3. 送迎中の車両事故や利用中の転倒等の事故防止に努める。</li> <li>4. 利用者サービスの向上のためにも、職員の健康管理・心のケアを実施できるよう職場環境の改善に努める。</li> </ol>												
その他	今年度も、丁寧語を使用し顧客意識を持ったサービスを提供する。												

## 令和5年度 居宅・在介事業計画（概要）（案）

運 営 方 針	<p>令和4年度は、専従ケアマネ2名体制を維持、前年度実績を上回る利用者確保が出来た。コロナが町内でも多発し、訪問調整等に苦慮した。民生委員との定期的情報交換会も開催することができなかった。</p> <p>今年度もケアマネ2名体制を維持しながら利用者の確保と適切なケアプランを実施していく。数値目標を、請求可能な利用者数一人ケアマネあたり35ケースと設定する。尚、ケアプランの増加を目指して3名体制も検討する。多問題ケースへの対応が出来るように研鑽を続ける。</p> <p>白老町の地域包括的ケアサービスの拠点としての役割が求められており、天寿会の地域支援事業の中核として機能できるよう体制の構築を目指していく。</p> <p>在宅介護支援センターとしての役割強化と広報活動を強化していく。今年度も生委員・町内会との情報交換会を計画する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者に信頼されるケアプランを作成し、適切に実施していく。</li> <li>2. 関係機関等の連携と地域住民に信頼される関係を築いていく。</li> <li>3. 一人あたり35ケースを確保する。</li> </ol>	
利 用 者 サ ー ビ ス 等	相 談 支 援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心できる施設生活をおくれるように様々な相談に対応する。又、家族の相談にも対応する。</li> <li>2. 制度の主旨をしっかりと理解し、利用者・家族に信頼されるプランの作成を目指す。</li> <li>3. 介護保険制度、他の福祉諸制度の内容を正しく理解できるよう、利用者・家族に情報の提供を行い、いつでも相談できる体制を確立する。</li> <li>4. 在宅介護支援センターの役割として受託している85歳時訪問を適切に実施していく。地域相談会を実施し、地域の相談センター機能の充実を目指す。</li> <li>5. 多問題を抱えるケースに対応できる知識・技術を習得して対応する。</li> </ol>
	介 護 （ 生 活 支 援 ）	
	健 康 管 理 （ 保 健 衛 生 ）	
	機 能 訓 練	
	給 食 （ 栄 養 管 理 ）	
	余 暇 支 援 （ 行 事 等 ）	
人 材 育 成 （ 職 員 確 保 ）	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ケアマネ業務の実施には、資質の高いケアマネが求められており、積極的に外部研修等への参加を図り資質の向上を図る。</li> <li>2. 事業所内外でのケース検討会等に積極的に参加していく。</li> </ol>	
研 修 計 画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護保険の情報収集、地域のケアマネ等との連携、ケアマネ資質の向上を目指した研修を実施する。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等職種毎の外部研修に参加し、知識・技術の習得に心掛ける。</li> </ol>	
施 設 管 理 等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護報酬を適切に理解し管理運営していく。</li> <li>2. 経営の安定化のために、適切な利用者の確保を目指す。</li> </ol>	



令和5年度 グループホームいたどり事業計画（概要）（案）

運営方針	<p>令和4年度もコロナ禍での1年となってしまふ。コロナへの感染については5月後半から6月にかけて利用者・職員ともに感染者が出てしまい残念ながらクラスターに発展してしまふ。その中で直接的な関連性は無くてもコロナ感染で入院し、その為に認知面が進行され飲食が摂れなくなり退去に至るケースも1件出てしまふ。ただ入所稼働率については概ね維持される。職員については休職と育児休暇にて2名減員と退職者1名あり、残った職員の代休確保が困難であった。また、相手が不快に感じるハラスメント的な言動にて職員間の関係性が崩れるなど、令和4年度についてもコロナ発生以外にも大きな変化が見られた1年であった。令和5年度においてもコロナ禍の中での支援になると思われるが、昨年経験したコロナ発生時への取り組みを活かし利用者が安心・安全な生活が送れ、職員も同様に職務遂行できるようにしていきたいと考える。現利用者の高齢化に伴い下肢筋力低下と転倒事故も継続し確認されているので個々の状態把握をしっかりと行い転倒など未然に防げる対策を講じながら、入院などを防ぎ稼働率の安定を図る。職員間のハラスメント的な言動についても確認時には早急に個人面談をおこなうなど対策を継続する。活動については昨年同様の行事以外に、コロナだからできないのではなくコロナ禍でもできる活動を新たに模索しながら提供し身体と精神面の向上を目指す。</p> <p>1：入居稼働率の維持・向上（入居者の健康管理を行う。退去時には空床期間を短くする）                  2：職員の健康と体制維持を図り離職予防に努める                  3：利用者個々の状態把握を行い事故対策への検討と対策を実施                  4：ハラスメント（パワハラ・セクハラなど）全般の禁止                  5：感染制限の中でも生活の質を維持・向上を図る                  6：身体拘束廃止/虐待防止委員会を定期的開催し職員への周知を図る。                  7：BCPを策定し適切なサービスの継続を図ります。</p>	
利用者サービス等	相談支援	<p>1. 入居利用者の確保に向けた地域への広報活動及び関係機関との連携継続。                  2. 生活の中で利用者と家族の主体性と選択が尊重され、自ら決定できるよう相談行う。                  3. 利用者と家族のニーズと意向を把握しケアプランへ反映する。                  4. 利用者の状態変化に伴う必要なサービス把握と他事業所への変更とその連絡・相談支援。                  ※利用者でニーズの確認困難な方に関しては普段の生活での言動や家族からの情報などを確認しプランに反映する。</p>
	介護 (生活支援)	<p>1. 利用者の現状と過去の生活歴を考慮した支援に家族の思いを含めた利用者本位の支援を提供していく。                  2. 細かい記録での情報共有を行うことで、利用者の状態変化を見逃さない取り組みを行う。                  3. 効率的で効果的な業務の遂行ができるよう、業務の見直しを検討。                  4. 利用者の安全と安心に繋がる生活に向けたサービスの向上。</p>
	健康管理 (保健衛生)	<p>1. 毎日の健康チェックと日々変化する精神・行動症状を観察し、状態変化に応じた受診に繋げる。                  2. コロナや季節に応じた感染症等への予防対策と定期的な研修実施。                  3. 受診や入院時の調整と、入院時の状態把握など医療機関との連携を図り退院時の安心できる生活提供。</p>
	機能訓練	<p>1. 日常生活の活動を通じた身体機能維持。                  2. 余暇を通じた四肢を動かせる運動や体操などの活動提供。</p>
	給食 (栄養管理)	<p>1. 利用者個々の嗜好やアレルギーなどを把握する。                  2. 行事などでは、利用者の力を発揮して頂ける様に職員と協働し調理や下準備を行う。</p>
	余暇支援 (行事等)	<p>1. 季節を感じられるような行事を継続し提供。                  2. 感染状況に応じつつ可能範囲で外出を含んだ支援を行う（個別と全体での外食やドライブ）。                  3. コロナ禍でも利用者が楽しめ意欲的に行える活動を提供する。</p>
	人材育成 (職員確保)	<p>1. 支援方法や対応策など自身で考えユニットで検討できるよう進める。ただ、上長といつでも相談できる環境は継続し孤立感を持たせない様にする。                  2. 自身でストレスの要因を理解し、セルフケアにてストレスをコントロールできるよう努める。                  3. 業務や人間関係への悩みを、個人面談を通しながら解決に繋げ離職予防に努める（表情等確認し必要に応じ上長からアプローチを行う）。</p>
	研修計画	<p>1. 定期的に身体拘束廃止/虐待防止の会議を事例用いながら開催し理解を深める。                  2. 感染予防（健康管理）の研修では季節ごとの感染症への学習と、変異があるコロナウィルスへの学習機会を定期的に行う（必要に応じ不定期にて開催）。                  3. 法人内研修と外部研修の参加やグループホーム協会主催の認知症理解への研修参加。</p>
	施設管理等	<p>1. 火災や津波（地震）への避難訓練実施と防火設備やそれに携わる機器の保守点検を行う。                  2. 転倒・転落からの骨折事故防止に向け予防や対応策を検討。                  3. 介護報酬が適切に請求できるよう確認・管理を実施。                  4. 職員にゆとりがないと支援や言動にも影響を及ぼし、離職にも繋がる恐れがあるので職場環境と業務改善に努める。                  5. BCPを事業所独自に作成し感染時や災害時にも継続した業務を行える様に備える。</p>
	その他	<p>1. 運営推進会議を通じて、地域に根差し開かれた運営を行う（感染症時は書面開催とする）。</p>

## 令和5年度 寿幸園事業計画（概要）（案）

運 営 方 針	<p>令和4年度は高齢者虐待ケースが多く、改めて利用者の人権擁護への意識喚起を目的とした継続的な取り組みを行う必要がある。令和5年度は、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえたレク企画等、感染対策を図りながら生活の潤いが感じられる施設運営を目標とする。又、常勤等の長時間労働者の確保が困難な状況の下、介護アシスタント等の多様な働き方の活用も視野に入れた職員確保を図る。その他、今後も感染症や自然災害に対し、利用者の安定した生活が継続できるよう準備を進める必要がある。</p> <p>令和5年度は、次の事項を重点的に取り組む。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高齢者虐待への取り組みを強化する             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 虐待防止委員会を組織し、定期的な会議を通じて、虐待防止及び職員の人権擁護意識喚起を図る取り組みを行う。</li> </ol> </li> <li>2. 新型コロナウイルスを含む感染症への対応             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 感染防止委員会を中心に対処マニュアルの見直しを行い、研修などを通じて感染防止に取り組む。② 感染状況に応じた面会を進めることによる交流支援を図る。又、広報誌の発信並びに各居室担当から定期的な写真送付などにより、家族に対する利用者の生活状況等の情報提供に努める。③ 感染状況や社会的認識の変化に応じた、屋内外の行事（レク）の内容を再検討する。</li> </ol> </li> <li>3. 利用者の安定的な確保             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 待機者の状況を定期的に確認し入退所調整を迅速に行っていく。また、ショートステイについても事前情報を共有し積極的に受け入れる。</li> <li>② 入所・ショートステイを合わせた年間稼働率 93.5%以上を目標とする。</li> </ol> </li> <li>4. 適切なサービス提供             <ol style="list-style-type: none"> <li>① ソフトの導入を通じた、多職種間の効率的な情報共有の方法を検討する。② 事故防止委員会及び虐待防止委員会において利用者の事故等について詳細に検証を行い、予防策を講じた上で、その効果について定期的なチェックを行う。</li> </ol> </li> <li>5. 事業継続計画の策定             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 自然災害及び感染症に対する事業継続計画を策定し、平時より必要な準備を進める。</li> </ol> </li> </ol> <p>4. 施設の管理</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 設備・備品の老朽化に対し適正な管理を行う。</li> </ol>	
利 用 者 サ ー ビ ス 等	相談支援	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 利用者・家族の相談に応じ、施設内外の関係部署等との調整を図る。</li> <li>② 施設入居及びショートステイの入退所調整を迅速に行い、利用者の安定的確保を図る。</li> <li>③ ソフトを活用した施設・短期入所サービス計画及び相談記録の作成を行い、業務の効率化を図る。</li> <li>④ コロナ禍で家族面会や外出・外泊の制限がある中、利用者・家族が安心して生活出来るように連絡方法を工夫し、適宜、状況報告を行う。⑤ 高齢者虐待防止の観点から、委員会等を通じて全体に意識啓発を図る。</li> </ol>
	介護	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ソフトを活用し、利用者情報及び対応方法の共有化を図る。</li> <li>② 利用者個々のケアプランにより適切なサービス提供に努めていく。</li> <li>③ 各ブロック間での共有部分の強化等、効率的な業務内容を検討する。</li> </ol>
	健康管理 (保健衛生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 日常的健康管理・嘱託医等への報告及び指示内容の実施。</li> <li>② 白老町立病院及び各医療機関との連絡調整及び連携を図る。</li> <li>③ 利用者の健康管理に努めながら、体調不良者などの対応を迅速かつ適切に行う。</li> <li>④ 新型コロナウイルス等の感染症に対する予防及び対応方法の検討・実施。</li> </ol>
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 個別訓練計画の作成・実施により、可能な限り運動機能低下を防ぐ。</li> <li>② 集団体操の実施により運動機能維持を図る。</li> <li>③ 日常動作訓練計画の立案作成により運動機能維持の支援を行う。</li> <li>④ 短期入所利用者の運動機能訓練を実施し、在宅での生活機能維持につなげる。</li> </ol>
	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① ミールラウンドを強化する。</li> <li>② 摂食障害（食欲低下・嚥下機能低下等）の入居者に対し、多職種と協働し対策を強化する。</li> </ol>
	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 寿幸園レクレーション委員会による全体行事の企画・実施。</li> <li>② 各ブロック単位でのレクレーションの企画・実施。</li> </ol>
人材育成 (職員確保)	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 職員の育成及びチューターに対する支援の実施。</li> <li>② 介護福祉士資格未取得者に対する介護職員実務者研修受講促進を図る。</li> <li>③ 職場内のコミュニケーションの活性化を図る。</li> <li>④ 介護アシスタント等の多様な働き方の活用を検討する。</li> </ol>	
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 寿幸園内研修委員会企画による研修会の開催。</li> <li>② 高齢者虐待に関する研修会を開催。</li> <li>③ 天寿会研修委員会企画の研修会への参加。</li> <li>④ Web 研修も含めた外部団体主催研修会参加企画。</li> </ol>	
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 寿幸園内敷地の清掃・整備及び建物外観を保全に努める。</li> <li>② 設備・備品の経年劣化に対して適正な維持管理に努める。</li> <li>③ 危険物・衛生設備の管理徹底を図る。</li> </ol>	
その他	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 日常的な節電・節水を通じ冗費削減を図る。</li> </ol>	

## 令和5年度しおさい事業計画（概要）

運 営 方 針	<p>障害者総合支援法の主旨に沿って、利用者個々の想いを尊重し、個別支援計画書に基づき、地域社会で自立した日常生活や社会活動を営むことができるようにする。事業の実施に当たり、法人内の日中活動事業所、他事業所の地域資源の活用、関係市町村、地域の保健、医療、福祉サービスと連携を密に図り、サービスの提供に努めます。人材の確保、定着、育成が大きな課題であり、障害福祉サービス事業所とも連携を取り、未来のサービス管理責任者の育成の場としても機能出来るよう、体制の見直しを図ります。当法人の理念でもある『利用者本位』『自立支援』『地域との連携』を推進する存在であるために、住まいとしての場、自立支援を応援する場、地域生活を発信する場であることを再認識し、サービスの質の向上を図ると共に、日中活動支援型グループホームへの移行、グループホームの拡大、新たな日中活動の創出など、障害分野の事業展開や状況の変化に応じられる体制作り、スタッフの働きやすい、やりがいのある職場作りを目指しながら、事業の安定化を図ります。</p> <p>《重点目標》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者一人ひとりのニーズの実現に向けた個別支援、自立支援と日中活動の充実。</li> <li>2. 行政機関や法人内施設・他事業者との連携等による利用者の定員確保。</li> <li>3. 権利擁護、虐待防止、防災、事故、防犯感染症対策など、安全・安心を考えた施設運営。BCP(事業継続計画)を策定し、自然災害、感染症に備え、利用者様へ安全、安心を提供します。</li> <li>4. 障がい福祉サービスとの連携の強化、事業展開、求められる日中活動の提案。</li> <li>5. 働きがい、やりがいのある職場づくり。</li> </ol>	
利 用 者	相 談 支 援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の想いに寄り添った個別支援計画の作成及び相談を行う。</li> <li>2. 広報誌・法人ホームページ、ブログ等を通し、地域住民、関係機関へ情報発信を行います。</li> <li>3. 日中活動事業所や地域の社会資源を活用した個別支援、自立支援を推進する。</li> <li>4. より多くの相談支援事業所、障害福祉サービス支援事業所と顔の見える関係を構築し、連携強化を図る。具体的なスケジュールを組み、他事業所への見学、情報交換の機会を持ち、働くスタッフへの刺激、サービスの見直しの機会、日中活動支援型グループホームへの移行、グループホーム拡大を視野に入れ、障害分野の事業展開、状況の変化に応じられる体制を具体的にシミュレーションしていく。</li> <li>5. 障害福祉サービス事業所と連携体制を持ち、事故防止及び権利擁護を推進する。</li> </ol>
サ ー ビ ス	生 活 支 援	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 個別支援計画に基づく支援の実施（利用者の地域生活支援を含む）。</li> <li>2. 職員間での利用者情報の共有化による支援内容の向上を図る。</li> <li>3. 利用者の健康状態の把握による疾病の早期発見と医療機関との連携。</li> <li>4. 利用者の嗜好や意向に添った、また健康面に配慮した食事の提供。</li> <li>5. 町内会等の地域との交流の場を具体的に設け、積極的に働きかける。</li> </ol>
等	健 康 管 理 (保 健 衛 生)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の日常的健康チェックや早期対応による健康管理の把握を行う。</li> <li>2. 新型コロナウイルス、インフルエンザ等の感染予防の実施、勉強会、マニュアルの更新及び迅速な対応に努める。</li> </ol>
	庶 務	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護報酬及び各種加算の手続きと適切な請求。2. 経費節減及び利用者確保し安定した経営を図る。</li> </ol>
	給 食 (栄 養 管 理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 家庭の味を大切に、必要時には管理栄養士の助言を受け、食事提供を行う。</li> <li>2. 食中毒等の予防に努めていく。</li> </ol>
	余 暇 支 援 (行 事 等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者が望む余暇活動を充実させていく。交通機関の利用の見直しを図ります。</li> <li>2. 近隣地域の行事の情報提供及び積極的な参加を促す。</li> <li>3. 夏祭り・忘年会、各イベント・余暇活動が利用者主体となるよう支援する。</li> </ol>
人 材 育 成 (職 員 確 保)		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 法人研修、外部研修、他事業所見学などに参加し、外部に触れ、スキルアップ、しおさいのサービスの見直しに繋げていく。</li> <li>2. 意見の言い合える風通しの良い職場環境づくりを行う。</li> <li>3. 全スタッフとの個人面談、一緒に考える業務改善を通して、働きやすい、やりがいのある職場づくりを目指し、離職防止に努める。</li> <li>4. サービス管理責任者、生活支援員、世話人の業務整理を行い、人材の確保、定着、育成に繋げ、残業のない職場づくりを行います。</li> </ol>
研 修 計 画		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. スキルアップが図れるよう法人研修及び障がい合同研修への参画並びに事業所内研修の充実を図る。</li> <li>2. 社会福祉研修所研修等の外部研修への参加や他施設見学を行い、情報収集や業務改善、職員の知識・技術の向上に努める。</li> <li>3. 3 障害を受け入れているグループホームとして利用者様ニーズ、アセスメント、支援方法など、サービス管理責任者、生活支援員、世話人とスタッフ間でのサービスの共通認識、学びの場を継続して持ち続ける。</li> </ol>
施 設 管 理 等		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の安全・安心を基本とした、事故防止対策並びに防災・防犯対策の強化を図る。BCP(事業継続計画)を策定し、自然災害、感染症に備え、利用者様へ安全、安心を提供します。</li> <li>2. 虐待防止に取り組み利用者の権利擁護並びに職場環境の改善を推進する。</li> <li>3. 開設より 10 年が経ち、建物、設備など業者を交え、必要な改修、修繕の把握を行い、適切な改修、修繕に結びつける。</li> </ol>

## 令和5年度 そよ風の里事業計画（概要）（案）

事業計画	<p>基本方針</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 職員の確保及び資質の向上</li> <li>2. 離職予防及び業務内容の見直し</li> <li>3. 新規利用者の確保及び定員の確保</li> <li>4. 健全な財政運営</li> <li>5. 介護保険施設としての法令遵守</li> <li>6. ユニットケアの推進</li> </ol> <p>令和5年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護職員・看護職員などの人材確保～あらゆる機会を活用し人員確保に繋げる。</li> <li>2. 利用者の積極的な受け入れ及び定員の維持～人員実績を踏まえ、利用者の受け入れを計画的に行う。</li> <li>3. 感染症の対策強化～基本的な感染対策の徹底、感染対応マニュアルの更新(点検)、必要物品等の在庫管理及び調達、家族への情報発信を適切に実施する。</li> <li>4. 職場環境の改善～職員との面談などにより離職の防止に努め、職場環境及び業務の改善を図る。</li> <li>5. 法令の遵守～介護保険法による運営基準を遵守、虐待行為及びハラスメント（パワハラ・セクハラ等）を禁止する。</li> <li>6. 人材育成～研修会などを活用しキャリアアップを図る。</li> </ol>	
利用者サービス等	相談 (ケアマネ)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の人権を尊重し、安心した施設生活を送れるようにケアプランに沿ったサービス提供に努めていく。</li> <li>2. 職員の状況を踏まえた計画的な利用者確保に向けて近隣医療機関、居宅介護支援事業所に対して施設情報を提供し、利用申込みに関する相談や介護保険について町内外の住民からの問い合わせに応じる。</li> <li>3. 家庭復帰や特養利用への相談支援を行う。</li> <li>4. 入所判定委員会の開催に努める。</li> </ol>
	医療 健康管理	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者の日常的な健康管理とともに疾病の早期発見・早期治療を行う。</li> <li>2. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保を図る。</li> <li>3. ジェネリック医薬品の活用等、経費削減を目指す。</li> <li>4. 各種の感染症の予防に努める。</li> </ol>
	介護 看護 (生活支援)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ユニットケアの推進とケアプランに基づくサービスの充実を図る。</li> <li>2. 関係職種と利用者情報の共有化と連携を図り、身体拘束廃止へ取り組む</li> <li>3. 重度要介護者及び認知症とその周辺症状に対応できる体制の整備を図る。</li> <li>4. 医療・介護事故の防止に取り組み、重大事故に繋がらないよう努める。</li> <li>5. ご家族の要望を踏まえターミナルケア（看取り介護）の充実にも努めていく。</li> </ol>
	機能訓練	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 身体機能・認知機能の低下を防ぐため、個別の訓練計画を作成・実施する。</li> <li>2. 訓練室及びベッドサイドによるリハビリテーション並びに余暇活動へのアプローチを行う。</li> <li>3. 白老町からの介護予防事業「すこやかサロン」に協力する。</li> </ol>
	給食 (栄養管理)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者個々の嗜好を把握し、満足を得てもらえる食事の提供を心掛ける。</li> <li>2. 利用者の栄養状態にあったマネジメントを行う。</li> <li>3. 咀嚼や嚥下状態が低下した利用者でも経口摂取ができるよう工夫を行う。</li> <li>4. 食事レクの企画実施。</li> </ol>
	余暇支援 (行事等)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症などに配慮した上で外出行事の検討や外出困難時の、ユニットごと・フロアごとに利用者のニーズに合わせた行事やレクの企画実施。</li> <li>2. 天寿会共通行事等への利用者の参加を促す。</li> </ol>
研修計画	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 介護福祉士資格取得に向けて実務者研修通信課程の受講支援を行う。</li> <li>2. 法人内研修員会実施の研修へ参加する。</li> <li>3. 毎月の感染防止委員会・事故防止委員会・身体拘束防止委員会(虐待を含む)にて、感染症及び不適切ケアや虐待防止について学習する。</li> </ol>	
施設管理等	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 経費の節減を心掛け経営の安定化を図る。</li> <li>2. 備品台帳を整備。建物・備品の経年劣化に伴う破損等に対応する。</li> <li>3. 年度内に BCP を作成する。</li> </ol>	

## 令和5年度 診療所事業計画（概要）（案）

事業計画	<p>北海道リハビリテーションセンター診療所は、次の内容を基本方針として運営を行う。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 医療法、医師法等を遵守し、違反のないよう医療を提供する。</li> <li>2. 地域住民に必要な医療を提供し、地域内で健康な生活を送ることが出来るよう支援する。</li> <li>3. 施設利用者への健康管理を通じて、自立した生活を送ることが出来るよう支援する。</li> <li>4. 職員に必要な医療を提供し、安心して天寿会での勤務を続けていくことが出来るよう支援する。</li> </ol> <p>令和5年度重点目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 感染症への対策             <ol style="list-style-type: none"> <li>①館内の感染を防ぐ                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.感染症に関する情報収集を行い、適切な受診が出来るよう支援を行う。</li> <li>2.消毒液を適切な箇所に配置する。</li> <li>3.診察室、待合室、廊下、手すり、ドアノブ等の清掃・消毒にて環境衛生に努める。</li> </ol> </li> <li>②外来患者からの感染を防ぐ                 <ol style="list-style-type: none"> <li>1.個人防護具の整備を図る。</li> <li>2.検査キッドの確保を図る。</li> </ol> </li> </ol> </li> <li>2. オンライン資格確認システムの適切な運用を図る。</li> </ol>	
医療サービス等	地域住民	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「特定検診」・「後期高齢者健康診査」・「特定健康情報提供」等の資料の提供。</li> <li>2. 在宅療養指導の実施。</li> <li>3. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保。</li> <li>4. 予防ワクチン接種の提供～インフルエンザ・肺炎球菌・子宮頸がん など</li> <li>5. 白老町学校検診への協力～竹浦小学校・虎杖浜小学校</li> <li>6. その他、白老町・苫小牧保健所等の行政機関からの依頼に応える。</li> <li>7. 適切に新型コロナワクチン接種への対応を行う。</li> <li>8. マイナンバーカードによるオンライン資格確認システムの周知を図る。</li> </ol>
施設利用者		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要時の診療の提供。</li> <li>2. 健康診断の提供。</li> <li>3. 予防ワクチン接種の提供～新型コロナワクチン・インフルエンザ・肺炎球菌</li> <li>4. 協力医療機関と連携し緊急時支援体制の確保。</li> </ol>
職員		<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 必要時の診療の提供。</li> <li>2. 健康診断の提供。</li> <li>3. 予防ワクチン接種の提供～新型コロナワクチン・インフルエンザ</li> <li>4. 二次検診等を通じた健康管理の支援。</li> </ol>
医療器具		<p>必要最小限の機器で対応し、設置機器以外については委託業者に依頼</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 心電図装置</li> <li>2. 超音波画像診断装置</li> <li>3. 尿検査器</li> <li>4. レントゲン撮影装置（回診用X線装置を含む）</li> <li>5. 針治療器</li> </ol>
人材育成（職員確保）		<p>欠員が生じた際には、あらゆる機会を活用し職員を確保する。</p>
研修計画		<p>天寿会研修員会主催の研修への参加を行う。</p>
施設管理等		<p>建物・設備においてはかなり老朽化しているため、診療に影響が及ばないよう故障や不具合が発生した場合は、都度対応を取っていく。</p>

## 令和5年度 天寿会実務者研修通信科事業計画（概要）（案）

運営方針	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 新型コロナウイルス感染予防対策を講じた講座運営</li> <li>2, 教育体制の整備・充実を図る</li> <li>3, 適正事務</li> <li>4, 新型コロナウイルスの状況をみつつ、近隣地域へ受講生募集を拡大する。</li> <li>5, コロナ禍の先を見据えた事業運営の検討</li> </ol> <p>令和5年度は、引き続き新型コロナウイルスの感染対策を講じた講座運営に努める。また、現講師の高年齢化に伴い辞退の意向が多く、新たな講師の養成を行うとともに、より実践力が身につく教育体制の整備のため、研修への派遣等実施し、地域の介護人材の育成を担っていけるようにする。</p>	
利用者サービス等	サービスの向上	<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 健康チェック、飛沫対策、消毒等感染対策を講じて講座運営する。</li> <li>2, 新型コロナウイルスに対する法改正、感染状況等を鑑みながら、オンライン講義等の導入や（医療的ケアは不可）、運営方法を検討実施する。</li> <li>3, 教育内容の充実を図る。</li> <li>4, 一般・法人職員それぞれのキャリア支援、就労支援等、研修終了後のキャリアについてサポートの充実を図る。</li> <li>5, 特定技能実習生の受け入れを行う施設が増加していくことが見込まれるため、外国人の受け入れに向けて講義の展開方法や資料の工夫、教材等を整備する。</li> </ol>
申請手続き等事務		<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 第5条報告、その他講座運営に必要な事務を適切に行う。</li> <li>2, 新たに、専門実践教育訓練給付金・教育訓練給付金の申請について検討する。</li> </ol>
人材育成研修計画		<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 医療的ケア教員講習会への派遣（退職に伴う補充）。</li> <li>2, 実務者研修教員講習会への派遣（増員）。</li> <li>3, 教員の介護技術、受講生のキャリア支援に関する研修の受講を検討。</li> </ol>
施設管理等		<ol style="list-style-type: none"> <li>1, 感染予防のための消毒、SC時の換気等適切に行う。</li> <li>2, 通信科備品管理、消耗備品の在庫管理・補充、研修室の整理等適切な施設・備品管理に努める。</li> </ol>